


退職者 No.105
こだま会報



憲法擁護・平和・脱原発 社会保障運動の前進へ

ご長寿おめでとう



昨年4月1日にスタートした「長寿祝制度」。今年度の対象者は156人（4月1日現在78歳～80歳の会員）で、総会には10人が列席され、終了後は同プラザ9階レストラン『味彩』で懇親を深めました。

今号の紙面

- ・総会報告 …… ①～⑤
 第30回総会報告／加瀬代表挨拶／来賓挨拶／経過・決算・監査報告／方針／総会発言・答弁／物故者名
- ・開成町あじさいの里とアサヒビール工場見学 …… ⑤
- ・「会員紹介」／おすすめの一冊 …… ⑥
- ・せいかつ短信／絵手紙 …… ⑦～⑭
- ・薬膳料理教室 …… ⑭
- ・歴史教室／手づくり文化祭／予告 …… ⑮
- ・こだま俳壇／福島復興応援バスツアー …… ⑯

神奈川県職労連退職者こだま会が第30回定期総会(6/21)

生きいきとその人らしく

退職者こだま会は6月21日(土)、かながわ労働プラザで第30回定期総会を開催。今年度の運動をスタートさせました。

午前10時、幹事の小島八重子さんの司会で開会。会員総数1337人、出席会員60人、委任状495人で総会の成立(会員総数の3分の1)を確認しました。

続いて、この間に亡くなられた25人の会員の方々に黙とうをささげました。議長に辻村博さんを選出し、議事に入りました。

開会にあたって、

加瀬文隆代表幹事は、安倍内閣の集団的自衛権容認や、武器輸出3原則の廃止、原発再稼働と原発輸出、石原環境相の「金目」発言等にふれ、「居ても立ってもいられない情勢だ。私たちの世代の責任として声を上げていこう」と強調。「高齢期運動を強め、9条の会との連携など、力を合わせてがんばろう」と呼びかけました。



新方針を決め元気よくスタート

続いて、1号議案「2013年度経過報告及同決算報告」(鳥居伸太郎事務局長)、同監査報告(岩柳良雄監査)、2号議案「2014年度活動方針案」(植木真理子副代表幹事)、3号議案「2014年度予算案」(酒井道生幹事)が提案され、討議のうえ、それぞれ大きな拍手で承認しました。

また、昨年4月に発足したこだま会の「長寿祝制度」の該当者(今年80歳・79歳・78歳の156人)に記念品を贈呈したことを報告し、総会に参加されている該当者を紹介しました。

(2面に続く)

※会員の皆様へお願い…住所を変更された時は事務局までご一報を。

加瀬文隆代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の
加瀬文隆さん

6月7日、日比谷野外音楽堂で開かれた「閣議決定で戦争する国にするな! 大集会」に参加しました。安倍政治の暴走を止めなければ、子や孫に顔向けができないの思いを強くしました。

安倍首相がめざすのは、時代錯誤の「富国強兵」策です。「富国強兵」策とは、防衛予算の増強、特定秘密保護法、武器輸出三原則の見直し、「解釈改憲」(閣

「企業が世界一活動しやすい国」をめざすというもので、その中心が「企業減税」と労働者の権利を奪う「規制緩和」。6月18日に強行採決した「医療・介護総合法」に

会員のつながりを大切に

平和・脱原発・社会保障の充実へ

「強兵」策とは、防衛連携し、憲法9条擁護の運動を進める」方針を掲げています。「九条の会」ができて早10年、「9条

この一年間、「こだま会報」、「趣味の会」、「イベント」など会員のつながりを大切に、高齢期運動や平和・脱原発・社会保障の充実を求めるとりくみを進めましょう。

(1面より続く)
参加者からは、最近、本庁の組合掲示板が裏返しにされていたことや、新庁舎の耐震工事のため、地下売店が来年3月で廃止される問題、地域での「年金削減反対」の不服審査運動、町田の米軍機墜落事故50周年を記録する「町田の平和像建立募金」運動、「解釈改憲がまかり通つたら、9条だけでなくすべての条項に波及する」と憲法改正問題での発言。「こだま会の人間ドックの拡充」や、趣味の会の活動では、「歴史教



「血圧測定」に開かれた「開会前にはいろいろな相談も寄せられた。」

室の再開は、本当に嬉しい」などの発言が続き、議案を補強しました。総会後は同プラザ9階の「味彩」で懇親会。まず、神奈フィル争議を



県民本位の県政めざして
神奈川県職労連書記長
杉田 厚さん

来賓あいさつ(要旨)

たたかう杉本さんが争議支援をアピール。各テーブルでは、軽食をとりながら再会と健康を喜び合い、なごやかに交流を深めました。



強い「戦争反対」の声
横浜市従退職者会事務局長
高須正和さん

横濱市従退職者会は、今年で結成42年。高齢者が安心して暮らせる社会を、平和、福祉を守ろうと親睦と交流を深めてきました。

各議案の提案

●2013年度経過報告(鳥居事務局長)



鳥居伸太郎さん (事務局長) 文化・レク活 動では、こだま 会企画「てく・ テクの会」の「築 地グルメと江戸 散歩」...

「大山阿夫利神社の紅葉観賞とハイキング」を実施しました。趣味の会では、それぞれの会が継続的に活動し、「歴史教室」も新しい講師を得て、活動を再開しました。神奈川県自治労連退職者会主催の「手づくり文化祭」では、昨年を超える出展・出品がありました。

高齢期運動や平和とくらし、福祉・医療、民主主義を守るとりくみでは、各種集会、県職員九条の会のとりに参加。県職労連公務一般労組神奈川県分會への不当労働行為・解雇撤回問題では「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回させ、神奈川県をよくする会」へ2012年7月に団体加盟し、署名や裁判傍聴などに参加。「神奈川県臨調」問題では学習会や『会報』でのアピール、署名などを行いました。 2013年度に発足した「長寿祝制度」の対象者は80歳以上の会員で、311人。祝品をお贈りし総会後の懇親会へ招待しました。そして、多くの方から感謝の声が寄せられました。会員拡大では、昨年を上回る40人の新会員を迎え、会員数は2014年6月10日現在、1337人です。 ●2013年度決算報告(鳥居事務局長) 収入の部では、年会費会員が90人、終身会員は24人が加入。支出の部では、収入の終身会費が予算額を下回りました。その額を積立金会計に繰り出しました。 ●2013年度会計監査報告(岩柳監査) 帳簿等はしっかりと管理され、適正に執行されていきました。経費削減の努力も認められます。 ●2014年度活動方針(植木副代表幹事) 福島原発事故の真相究明がなされない中で、政府は原発の再稼働に踏み切ろうとしています。また、特定秘密保護法の強行採決、武器輸出三原則の見直しに続き、閣議決定による集団的自衛権行使容認は、憲法9条の解釈改憲であり、憲法の根本理念である「立憲主義」の原則を覆すもので容認できません。高齢者に対しては、年金削減・負担増と、社会保障の解体攻撃を強めています。労働者の権



植木眞理子さん (副代表幹事) 福島原発事故の真相究明がなされない中で、政府は原発の再稼働に踏み切ろうとしています。また、特定秘密保護法の強行採決、武器輸出三原則の見直しに続き、閣議決定による集団的自衛権行使容認は、憲法9条の解釈改憲であり、憲法の根本理念である「立憲主義」の原則を覆すもので容認できません。高齢者に対しては、年金削減・負担増と、社会保障の解体攻撃を強めています。労働者の権



岩柳良雄さん (会計監査) 帳簿等はしっかりと管理され、適正に執行されていきました。経費削減の努力も認められます。

利を守り、社会保障の充実を図るとりくみが重要です。安倍政権の暴走に対抗する運動も継続的にとりくまれています。反原発集会や「九条の会」、「戦争させない1000人委員会」のとりくみなど、草の根からの共同のたたかいを一層広げていくことが求められます。 県政をめぐることは、2月7日発表の「緊急財政対策の取組結果」によると、県単独補助金は見直し対象273件中211件が廃止・見直し、県民利用施設は124の内94施設が廃止・移譲・統合、人件費抑制総額は694億円となっています。 また、職員の給与カットについては、国の給与カットが2013年度で終了したにもかかわらず、今年度も「緊急財政対策」として継続するとしています。これからは、たたかいはの正念場です。来年は県知事選挙の年であり、県政のあり方が鋭く問われます。

こうしたなかで、保健・医療・福祉・年金制度の充実や消費税増税反対、TPP推進反対、脱原発などの国民的な課題では、学習会や署名運動などを全国の仲間とともにとりくみます。「県職員九条の会」等と連携し、憲法9条擁護・平和をめざす運動を進めます。

(4面へ続く)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます(順不同)

Table listing names and ages of deceased members: 手嶋シゲ子 71歳, 東富美子 82歳, 吉岡志保子 65歳, 船橋雅子 85歳, 木崎信男 77歳, 益川和也 81歳, 内藤文雄 74歳, 元木紀恵 85歳, 小山守 86歳, 篠崎惣一 89歳, 鴨志田ひて 84歳, 譲原大司 74歳, 石井熙悦 79歳, 出縄徳三郎 82歳, 伊藤敏昭 81歳, 牧田耕二 89歳, 若月督司 84歳, 熊谷由喜男 79歳, 平野拓男 84歳, 木賊安夫 80歳, 辻本操 87歳, 梶野友次 89歳, 小山剛司 68歳, 仲川栄一 85歳, 秋葉アイ子 ?

2013年6月から2014年5月までにご連絡のあった方で、それ以前に亡くなられた方も含みます。

(3面より続く)

「趣味の会」を充実し、福利厚生では、人間ドック事業の実施機関の拡大等充実を図ります。会員拡大では、県の退職者会「かもめ会」の解散に伴い、「かもめ会」会員への「こだま会」加入を呼びかけます。高齢者が生きいきと生活ができるよう、交流の場と仲間づくりをいっそう進めます。

●2014年度予算案(酒井幹事)



酒井 道生さん (幹事) 収入では昨年度の実績をふまえて予算化しました。積立金からの繰入金は、

長寿祝等の対象者約160人分にかかる約50万円を見込み、他の経費負担を考慮し、80万円としました。

支出では前年度決算をベースに組みました。増要素は消費税増税3%分、減要素は、『会報』100号企画の終了、役員選挙がなく、宿泊幹事会がないことをふまえています。予備費は県職労連規定(3~7%)を準用し約5%としました。

参加者の発言・意見



鈴木 三郎さん ひどいよ、黒岩県政最近、本庁舎の組合掲示板が裏返しになっていった。県会で「政治活動」

だと追及されたとのこと。新庁舎の耐震工事のため、地下売店がなくなるようだ。自治会館に行ったら、横浜県税になっていた。1階の喫茶店や2階の食堂が店じまい。「かもめ会」は解散。こうした知事のやり方はひどい。お互いにもっと怒らなければいけない。来年の知事選を、がんばろう。



佐伯 義朗さん 私たちも声をあげて 新聞の「声」欄に、「サッカーのワールドカップに

のめり込み、集団的自衛権問題はどいうなったのか」や「集団的自衛権問題は解釈改憲でなく、正々堂々と憲法改正でやるべき」という声が載っていた。私たちも声をあげていこう。このままでは、憲法のすべての条項が解釈でやられてしまいかねない。県会を傍聴したが、「反原発」のトーンは下がり、県政がどこを向いているのか分かった。できることをとりにくんでいこう。



大貫多喜子さん 年金の底上げを 年金削減反対の不服審査請求運動では12万人以上がとりくみ、大きな

世論になった。何でこんなに年金が減額されるのか、「こだま会」で、

内容を解説してほしい。230万円以下の人は減額されないが、これからずっと引かれることになる。「公務員はいいね」ではなく、低い年金の人はたくさんいる。年金の底上げが大事だ。



川田 勝利さん 生きいきと、その人らしく 運動方針のなかで、「生きいきと、その人らしく生き

ていく」とあってよかった。「歴史教室」では、講師の生方さんの話がとてもわかりやすく、面白い。ぜひ皆さんも気軽に参加してほしい。



小川 政則さん こだま会はあったかい組織だ 5月号で、「町田平和像建立募金」

(50年前の町田の米軍機墜落事件追悼)の記事を掲載していただき、ありがとう。記事を見た会員から10万円近くの募金が寄せられた。みんな地域で地道にがんばっておられる。募金にも、さっと協力して下さる。こだま会はあったかい組織だなあと実感した。戦争責任を今こそ果たさなければならぬ。こだま会が発行した県職員の戦中体験記『伝えたい想い』は貴重だ。若い人たちに歴史の教訓を伝えていこう。



湯川 勉さん 遡って年金(恩給)削減なんて 昨年8月に恩給が引き下げられた。昭和32年に高

校を卒業して、市役所に入った。約5年の恩給資格がある。当時の公務員の給与は月6300円位。生活は苦しく、公務員になる人も少なかった。その後、県に就職したが、現役もOBも、ものすごく年金が減らされている。50年も前に遡って年金(恩給)を削減するなんて…。一生懸命働いてきた公務員を大事にしてほしい。こだま会も、わかりやすい年金の仕組みなど宣伝してほしい。



新倉仙太郎さん 年金を下げるな 三浦地域では、「年金削減はやめてほしい」と90人近くが不服審査請

求運動をしたが、却下されてしまった。しかし、「年金を下げるな」と再び申請して頑張っている。



弘川 子さん よかった「人間ドック」 こだま会の「人間ドック」を受け

た。現役の時より、細かいところまで診てもらい、とてもよかった。きちんとやっていたら、ありがと。 (5面へ続く)

(4面より続く)



木村 武子さん
『会報』の編集委員に
年4回発行して
いる『こだま会
報』。編集委員6
人が、横浜駅西口

のながわ県民センターに集まり、
わいわいがやがや編集会議(企画・
校正)をしている。「こんな情報が
ほしい」「こんな情報はいらぬ」
など、皆さんの率直な声を聞きたい。
そして編集委員にぜひ名乗りを上げ
ていただきたい。

発言・質問への回答

総会後の第1回幹事会(7月22日)
での論議を経たものです。

● 全体的に：9人の会員からの熱の
こもった発言に敬意を表し、運動に
反映させていきたい。

● 県の福利厚生事業：県の福利厚生
事業の後退は残念。県職労連と連携
し充実させたい。

● 年金引き下げ問題：『会報』で年
金問題の現状と課題など、わかりや
すい企画をしたい。

● 平和のとらえかみ：町田の「平和像
建立運動」をはじめ、地域の平和の
とらえかみに敬意を表したい。

● 「歴史教室」の再開：新しい講師
を得て、スタートできた。歴史に興
味のある人など、気軽に「講義」や

「散策」を楽しんでほしい。

● こだま会の「人間ドック」事業：
前年度から、かながわクリニックで
実施した。好評で20人が受診され
た。今年度は実施場所を県下に増や
すなど、さらに充実させていきた
い。

てく・テクの会

開成町あじさいの里と アサヒビール工場見学で交流

こだま会「てく・テクの会」主催
の「開成町あじさいの里とアサヒ
ビール工場見学」が、梅雨の晴れ間
の6月9日(月)に行われました。



あじさい農道。背景の山は松田山

● 『会報』の編集委員募集について
：「会報」は会員の重要な情報源。
集団編集(6人の編集委員)で年4
回定期発行している。編集委員を募
集中。楽しい企画もどしどしお寄せ
いただきたい。ホームページも充実
させたい。

新松田駅に10時30分集合。参加者
は18人。歩程は次のとおりです。

新松田駅↓あじさい農道↓あじさ
い公園(昼食)↓あしかり郷瀬戸屋
敷↓アサヒビール神奈川工場↓(タ
クシーで新松田)。一部グループは
若松食堂で反省会。(友井眞言)



咲き誇る紫陽花のなかで



一日を熱心にじっくり反省
(新松田若駅前若松食堂)



できたて生ビールを4杯、5杯
と飲んで、疲れも吹き飛びご機
嫌な皆さん。瀬戸屋敷から工場
までの道は登り坂で、太陽に照
り付けられ汗をかきかき、やっ
とたどりつきました。汗のおか
げか、「ああー旨かった」



庄屋の住まいであった瀬戸屋敷



-41-



毎日が日曜、足の向くまま、気の向くまま、体調と相談しながら、史跡や景観めぐりを楽しんでいきます。

昭和という激動の時代

顧みますと、昭和という激動の時代をどうにか乗り越えて、今日に至りました。この間、様々な問題に直面しましたが、戦後、新憲法のもとに比較的安定的時代を生きてきたと思っております。しかし最近、にわかには雲行きが怪しくなっております。

歴史は繰り返す

歴史は繰り返すと申しますが、太平洋戦争で多くの犠牲者を出し、加えて焦土化したかつての日本の歴史を忘れてはならないと思います。

今日、靖国問題、特定秘密保護法の制定、加えて集団的自衛権が声高く叫ばれています。安

後世の人に負の遺産を残さぬよう

坂本茂三郎さん (78歳 横須賀市)



福島復興支援バスツアーに参加した坂本さん(後列左から3人目)

倍総理の祖父・岸信介元総理は、五族協和の名のもとに、傀儡政権「満州国」建設に加担し、敗戦の結果、多くの犠牲者と満州開拓団の人たちは、筆舌につくしがたい苦難の道を歩まされました。

南信州の「満州開拓平和祈念館」と「福島復興支援バスツアー」

先般、3月7日から8日、南信州に建設された「満州開拓平和祈念館」を訪れ、88歳になる開拓団の生き残り

りの方から、言語に絶する赤裸々な体験談を聞く機会を得ました。誠に凄惨な逃避行であった。

さらに、5月14日から15日、こだま会主催の「福島復興支援バスツアー」に参加して、原発事故の被災地を訪れ、その惨状を見て愕然とさせられました。

生易しいものではない「原発再稼働」

テレビや新聞報道による原子炉の撤去は言うに及ばず、汚染水の処理すら手さぐりの状況にあります。

安倍内閣は、国内外に原発事故は終息しつつあると発表し、さらに再稼働を進めようとしています。現状はそんな生易しいものではありません。百聞は一見に如かず。できる限り多くの方々が現地を訪れ、確認してみることをお奨めします。

最後に、帰途、東京都心に乱立する高層ビル群と、煌々と照らす明かりを見て、東京と福島の落差の大きさを感しました。後世の人に負の遺産を残さないように願いたい。

おすすめの一冊



『ポックリ死ぬためのコツ』
大往生できる人の7つの習慣
佐藤琢磨著・佐々木英忠監修

571円+税

みんなにもよく知られている「PK:ピンピンしたままコロリと逝く」。これが「ポックリ死」です。死に対して、できるだけ苦しまずに、安らかにおさらばしたいと思うのは、誰しもの願望でしょう。



「ポックリ死」とは何なのか、本書はその「死に方指南」とも言えるもの、また安らかな終末期に向けての準備書とも言えましょう。

【主な内容】

- 「ポックリ死」ってどういう死に方?
 - ポックリ死ぬために必要なこと
 - ポックリ死ぬための7つの習慣
- 著者・監修者ともに医学老年科の専門医です。2012年5月刊 571円+税。アスペスト文庫

(木村武子)

定期総会への出欠はがきに寄せられた「短信」をお届けします。掲載者は198人。「こだま会」への要望をはじめ、元気で勤めの方やボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、本当に喜ばしい限りで、地域での高齢期運動や「九条の会」等でご活躍の方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦労様」「総会の成功を」などの趣旨は、割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。

(順不同・敬称略)



鶴田賀陽子(横浜) おかげさまで本年は「年老女」を迎えました。つとめること5カ月。健康で残る7カ月を、続いて無事に老いの体験をしながら、充実した日々であることを願っています。

家城レイ子(小田原) 平成19年に目の手術をしてから、視力が落ちて、一人歩きができなくなりました。

高橋和江(横浜) 父母の病状も大分落ち着きました。お世話になった方々、ありがとうございます。これからは地域の活動に積極的に参加したいと思っています。

植木政光(秦野) 6月9日のこだま会で、テクの会の「開成町あじさいの里とアサヒビール工場見学」ではちょうど、アジサイコース内の「瀬戸屋敷」で作品展を開催していますので、観に来てください。

坪水智恵子(横浜) この度は、思いがけず、長寿祝を頂戴致し誠にありがとうございます。いつの間にか傘寿で驚いています。おかげさまで、元気で毎日何かと趣味に生きています。

山口順久(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。八十路の道は厳しく、老化には勝てません。今年のメーデーで鈴木三郎さんとお会いしました。毎年元気で頑張っています。社会保険の退職者会(全厚生)は10人余が参加していました。毎年参加を心掛けています。いつまで続けることができるでしょうか。

山口 茂(秦野) 元気で頑張っております。

鈴木陽子(横浜) 活動、ありがとうございます。

鈴木敏夫(横須賀) 何とか元気に過ごしておりますが、足腰の具合がおもわしくなく、外出がままなりません。

堀内 薫(栃木県塩谷郡高根沢町) 地区の老人会長を務めております。

川添国義(平塚) とりあえず元気です。

塩原國雄(横浜) 元気に過ごしております。昨春秋に、公益社団法人真向法協会の機関紙『健體庸心』(第520号・平成25年10月1日発行)に小生の拙文「健庸道をめざして」が随筆として掲載になりました。お目を汚していただければ嬉しいです。

中村貞雄(横浜) 長寿祝、皆様に感謝!

小宮福太郎(二宮) 午前中は大正琴の練習をし、午後は犬の散歩をしています。

佐藤 肇(厚木) 健康のため、また仲間づくりのため、グラウンドゴルフを週2回、カラオケを月2回、趣味を堪能しています。

高木みどり(横浜) 母が特養に9年目で、天寿を全うしました。親切な介護と行き届いた看取りを受けられて、感謝しています。介護スタッフ不足で受け入れ人数が減っているのが現状です。介護の仕事が正當に評価され、待遇がよくなることを望みます。趣味は合唱でがんばっています。

ます。地域の図書館の「ティーンズコーナー」が楽しく、はまっています。

長瀬 昇(横浜) 長寿祝の品をいただき、ありがとうございます。いまは、膝の手術で歩行が不十分です。

大野 勲(藤沢) 脳梗塞で、一人では自由にいきません。こだま会の便りが楽しみです。

小越信子(横浜) 齢とともに、あちこちガタがきています。楽しいことを見つけないが、前向きに生活したいと思っています。

鈴木喜久枝(横須賀) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。これを励みに、これからの日々を大切に過ごして行きたいと思っています。

原 良平(横浜) 元気に過ごしています。いまはゴム風船に例えれば、若い頃と違って、少し空気が抜けて、しぼんでゆく感じです。外出も億劫になり、遠出は避け、近場の散歩程度で楽しんでいます。長寿祝を、ありがとうございます。

千島ミツ子(厚木) 原発即時廃止、憲法9条を守る、特定秘密保護法・集団的自衛権絶対反対、消費税廃止など、課題は山積です。いのちの続く限り、できることをしていきたいと思っています。平和で安全、安心な社会を子や孫に伝えたい。

加藤富美江(小田原) 長寿祝を、ありがとうございます。趣味の絵画を楽しんでいます。

橋本マツ子(横浜) 『会報』を楽しみにしています。思うように体調

が少しづつ…と自分ながら思っています。みなさまもどうかお体を大切に。梅谷俊鷹(横浜)「神奈川県職員九条の会」は小さな一石ですが、私も応援しています。

吉富秀司(横須賀) 今年から入会させていただきました。よろしくお願ひします。

松村久代(厚木) 人間、健康で元気に働けることが一番。近隣を歩いていても老人が多くなつたと実感します。無駄な医療費のお世話にならず、健康管理に努めましょう。

小津嘉郎(三浦) 退職開業しました。水産物仲介業を営んでいます。年々経営状況が厳しくなつてまいりましたが、4、5年は続けたいと考えています。趣味は、耳が遠くなり、趣味の宗教音楽も思うようにならず、読書三昧です。『こだま会報』など、大変楽しく読んでいます。皆様の活動が生き甲斐になつていくことが理解できません。

大柿素子(大和) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。

山下慶之丞(逗子) 毎回のおたよりを楽しみにしております。仲間が遠くなり、つい出にくくなつています。

遠山 淳(千葉県茂原市) 硬膜下血腫で、生まれて初めて入院生活を経験しました。現在は元の生活に戻り、愛犬と愛猫の世話と、庭いじりで過ごしています。

天利和男(横浜) 会員の皆様のご発展を祈念します。

太田 顕(相模原) 5月1日、相

模地域メーデーに参加し、元「北相支部」のマドンナとレジエンドの健在振りに会いました。群馬県立公園内の「追悼碑」の撤去の動きに右傾化を感じます。第36回相模湖・ダム追悼会(7月27日)の成功に尽力したい。

中澤祥浩(横浜) 気力が萎え、外部との接触が減り、代わりに週1回、ケアセンターで満足しています。「身のめぐり剥ぎとられゆく寂しさに親しき人の次々去り逝く」

戸塚 忠(静岡県三島市) 4月29日、三島を早朝に出発して、鈍行列車を取りついで、18時51分に鳴子温泉に着。翌30日から自転車で鬼首峠を越えて、横堀・角館・田沢湖・盛岡・遠野・釜石・大船渡・陸前高田・気仙沼・一関。一関→仙台間は、列車で。仙台→福島は100キロ、

は自転車。福島→郡山・水戸・東京・三島と列車に乗り、5月8日に帰宅。列車移動1085・1キロ。自転車600キロ、9泊10日の東北の桜の旅を楽しみました。後期高齢者でも、ヘルメットで頭を、サンングラスで顔を隠していると、息子のよう

な年恰好の方がたから、「若い人はいいですね」と言われました。ハハハハッ。

山野澄子(海老名) 俳句「いつの間にか不安が増して戦争に」
宮下兼治(横須賀) 長寿祝を、ありがとうございます。
栗原 節(藤沢) 長寿祝の品、ありがとうございます。

青山孝慈(藤沢) 目が不自由になり、文字が正しく書けなくなりました。

藤本信太郎(藤沢) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。会員の皆様のご健勝をお祈りします。

川島 大(相模原) 長寿のお祝いの品、ありがとうございます。
望月一孝(秦野) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。仕事を辞めて10年になります。「老化は足から」と言われるので、歩くように心がけています。ただ歩くだけではつまらないので、5年前から、1年に1山に登る目標をたて、これまでに、北岳、富士山、奥穂高岳、

木曾御岳山に登りました。今後何年続くかわかりませんが、迷惑にならない範囲で続けたいと思っています。

吉井 進(東京都渋谷区) 最近、ぐつと落ちた体力、気力。「せいかつ短信」に力をもらい、頑張っています。「せいかつ短信」欄に昔懐かしい方の名前を見ると、本当に嬉しいものです。皆さん、生あるうちは頑張ります。

今村幸美(横須賀) 長寿祝、ありがとうございます。胃がん、大腸がん、その他大病を患い、2週間前、家の中で転び歩行ができなくなり、ベッドでの生活になりました。車椅子の介護タクシーで通院しています。私も膝を痛め、杖をついて頑張っています(家内)。

石田啓子(横浜) 『こだま会報』ありがとうございます。いろいろな

情報をいただけることが嬉しいのです。現在、自宅をリフォーム中です。大きな家具を処分し、本や衣類なども片付けました。一つひとつに思い出もあり、感傷的になりましたが、それらのものに感謝して処分しました。リフォームは煩雑なことも多く、体力・知力・気力の残っている今がやり時だったと思っています。シンブルに暮らしていければと。

佐藤榮一(静岡県富士宮市) 夏の天の川を眺たくて、登山を兼ねて計画しています。

山口利広(三浦) 元気に暮らしています。いつもありがとうございます。

河原 武(藤沢) 長寿祝を、ありがとうございます。

内堀 晃(藤沢) つつがなく過ぎていきます。

鳥居喜代(横須賀) 今はバラが綺麗に咲いています。早朝、ウォーキングを兼ねて、近所に咲いているバラを観に行っています。垣根ごとにセンス良く咲かせているお宅もあり、とても心がなごみます。一日一日を愉しく過ごしています。

岡本 孟(横須賀) 思いがけず、長寿祝をいただき、ありがとうございます。少し長生きしすぎたかなと自省しております。

入間川昭遠(横須賀) 『こだま会報』、ありがとうございます。心身ボケ気味の昨今、読むたびに元気が出てくる感じがします。豊かな平和的生活を願っており、各人の努力が必要

ではないかと思っております。

寺松正孝(相模原) 『こだま会報』を毎回楽しみに読ませていただいています。またこのたびは長寿祝をいただき、重ねてお礼申し上げます。

加藤幸男(相模原) 週末は山梨の山荘で野菜作りに励んでいます。年相応の健康を保持しています。長寿祝、本当にありがとうございます。健康で長生きしたいと思っております。

佐藤 武(横須賀) 過日は長寿祝をいただき、ありがとうございます。お陰様で毎日元気に過ごしています。

佐藤しげ子(秦野) 高齢になつてからの病気で、体力が落ちましたが、友人とウォーキングに出かけたりにして、できるところで生活を楽しくしています。

松下ヒサコ(秦野) 歩行困難です。いつも『こだま会報』が届くことを楽しみにしています。

高梨文美(平塚) 長寿祝、ありがとうございます。最近、足腰が悪く、歩行が困難で、遠出できません。

矢部正雄(横浜) 年相応に元気です。

三宅杏子(厚木) 職場で親切にしてくださいました。でも今の若い人は、正規の仕事に就けず、辛いと思います。日本はもっと安心して働けるはずですよ。私は毎日、日課を決めて暮らしています。またね！

高林章郎(小田原) まずまず元気に日々を過ごしています。

村田康雄(小田原) 長寿祝、ありがとうございます。

吉村勝太郎(大和) 長寿祝、ありがとうございます。夫(勝太郎)は元気なのですが、最近、耳が遠くなり、あまり外出しません。憲法問題に、私は非常に興味・関心があり、私が総会に出席したいくらいです(妻代筆)。

影山明子(横須賀) 長寿祝、ありがとうございます。

大澤常雄(横浜) 喜寿を迎え、頭の体操のため語学(韓国語)を習っています。異国語に苦慮しています。

小針 光(横浜) いつも『こだま会報』、ありがとうございます。退職して22年になりました。何とか元気に、『会報』を楽しみにしています。

高橋精治(秦野) 民生・児童委員として7年目となり、微力ながら地域福祉活動に参加しています。右傾化する現政権の言動に危機を感じます。

伊東 久(秦野) 長寿祝、誠にありがとうございます。これを機に、ますます健康に留意します。元気に、荒廃農地や里山を守る会、県みどり財団等に顔を出しています。



交流で親睦の懇話会後の総会

増子忠治(平塚) 長寿祝、ありがとうございます。やどりきの水源の森で森林・林業の仕事を楽しんでいます。体力がずいぶん落ちてきました。集団的自衛権が気になりました。戦争がない国でありますように。

石原健二(東京都目黒区) 『会報』が届くのを心待ちにしています。私も年金暮らしの74歳となり、歳相応に体にガタがきています。ボケ防止のために週2回(1回2時間程度)のヘボ碁を打っています。また夕食後、家内と1時間程度散歩を心掛けています。

加藤房尾(海老名) 昨年、喜寿を過ぎ、現在もTBG(ターゲットボードゴルフ)に励み、楽しんでます。

小島信明(座間) 小生、妻の介護(介護5)、心臓のバイパス手術後、16年となった体調管理が日課ですが、元気です。送られてくる『会報』で、皆様のご活躍を拝見し、元気付けられています。

谷口隆亮(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。

佐藤 弘(横浜) この度は長寿(79歳)を祝っていただき、ありがとうございます。17年前に、カテール検査で、冠動脈1本が狭心症とされ、その後、5種類の薬を現在も服用してはいますが、不整脈が残っています。

阿部毅正(横浜) 退職して10年を迎えようとしています。地域活動(町内会・防災拠点の会長)、調理師専門学校講師をしながら、ストレスを感じしみながら、1年の早さを感じています。

佐藤富美栄(横浜) くちなしの香りが漂う季節になりました。このたびは思いがけなく、長寿祝をいただき、ありがとうございます。美味しいものや小旅行と思案中です。今は一人生活を楽しんで、好きな事ができるよう、暮らしています。

中嶋英子(松田) 長寿祝、ありがとうございます。これからも健康に留意して、過ごしたく存じます。

石田 昊(中井) 腰痛で悩んでいます。

荒井 優(相模原) 長寿祝、ありがとうございます。

小友隆男(横浜) 会を運営されている方々に感謝いたしております。

山本英忠(藤沢) お世話になります。

米持 汎(秦野) 体力に合わせ、山登りのほかに、里山を長距離散歩と「ロングトレイル」にチャレンジです。ふるさと新潟の「松之山古道」に行ってきます。熊に注意とのこと。少々不安もありますが。

七宮 清(厚木) このたびは、長寿の祝い品をいただき、ありがとうございます。岡島正秀(平塚) このたびは、

長寿の祝い品をいただき、誠にありがとうございました。ありがとうございます。

平能芳子(横浜) いつも『こだま会報』を楽しく見させていただき、ありがとうございます。急に暑くなり、歳も重ね、弱りました。

小沢房男(藤沢) 毎日元気に過ごしています。

菊田 勲(藤沢) 走力は落ちましたが、楽しく走り、飲んでいきます。

鈴木義朗(東京都町田市) 思いがけず、長寿祝をいただき、ありがとうございます。本をかうことにしよう。体調はまずまずで過ごしています。

横田富久子(横浜) 日々の暮らしを大切に心がけて、過ごしています。いつもいろいろな情報を、ありがとうございます。



絵手紙 奥津弘久さんの作品

奥津弘久(秦野) 「2世誕生」と言っても、昆虫の話ですが、昨年の夏、カブトムシ10数匹、キリギリス数匹を捕りました。冬の間、管理した結果、キリギリスは5月中旬から2〜3日おきに、1匹づつ孵化しま

した。カブトムシは容器のなかで、現在、サナギになっていきます。タマムシは卵を産んだと思う丸太を容器に入れたところ、6月中旬にかえりました。今夏も昆虫を捕って、来年2世を誕生させるぞ。

木村竹夫(伊勢原) 長寿祝をいただき、厚くお礼申し上げます。私は現在、肝臓・膵臓の十二指腸に胆管癌の疑いで、東海大学附属病院で毎月検査を受けている状態です。『絵手紙』の奥津弘久さんとは、秦野精華園で勤務していて、ゴルフのお供をしました。

山本正子(逗子) いつも感謝いたしております。何もお手伝いできませんが、皆様のご健康でお仕事が続けられますことを念じております。

永井洋保(厚木) 平成21年10月から介護保険のケアマネの事業所を自宅で、平成24年4月からデイサービス(宿泊も可。1カ月泊まって約11万円)を上荻野で運営しています。宣伝になって恐縮ですが、職員・利用者募集中です。(046-228-1965)

吉田綾子(逗子) 6月21日、22日は南相馬市へボラグループ(ぼちぼちいこカー)、仮設住宅での足湯やハンドマッサージ等、交流広場に行きます。放射能の影響は未だに直接・間接に住民を苦しめており、政治家への不満がいたるところに見えます。できる時にできる事を、当分続けていきます。

細山文一(相模原) 長寿祝のお

品をいただき、ありがとうございます。今後も健康に気を付けてきたと思います。

鈴木和代(横須賀) 2011年から3年間、いろんな病いにかかりましたが、今年からは病を払拭してゆるやかに生活を送っています。

石砺房子(横浜) 百名山完登をめざしています。この夏は、剣岳、奥穂高、飯豊山、大朝日岳を登る予定で、トレーニングしています。老体にむち打って。

市川忠勝(茅ヶ崎) いつも『こだま会報』を楽しく、特に「せいかつ短信」で知人の名前を見つけると懐かしく拝見しています。今後ともお続け下さるようお願い致します。北岡 学(横浜) 不整脈で静養中です。

大井昭夫(長野県佐久市) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。何とか元気で毎日を送っています。

神戸純成(厚木) 長寿のお祝い品、ありがとうございます。今年8月で満80歳になりました。小生、気持は元気のつもりだけれど、身体が言うことを聞いてくれません。持病の高血圧症を除けば、元気で頑張っています。

中村桂子(静岡県静岡市) 思いがけず80歳。長寿祝をいただき、ありがとうございます。80歳にはまだ何カ月かありますが、とうとう80歳になるのかと、嬉しいような悲しいような不思議な気分です。これから

新たな人生が始まります。片平成保(横浜) 長寿祝、どうもありがとうございます。健康寿命維持のため、使わせていただきませう。

木戸京子(福島県喜多方市) このたびは、長寿の祝い品をいただき、ありがとうございます。私は会津の地で、健康のために始めた太極拳で、友達も増え、2段を取得し、今3段をめざして練習や指導などで忙しく楽しんでおります。

日比野貞美(川崎) 庭先の小さな畑に、今年もスイカ・トマト・ナス・キュウリ等を植え終えたところです。立派なものではありませんが、家で消費する野菜の6割位は採れます。環境改善にも役立つているのかなど、楽しんでいきます。

曾我芳子(横浜) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。素晴らしい俳句も送られてあり、思わず胸が熱くなりました。腰部背柱管狭窄症で日々通院。私にもこんなに嬉しい日があったのだと、喜びでいっぱいです。

手代木昭八(横須賀) このたびは、長寿祝をありがとうございます。近頃、妹の介護が長く、年々重荷になってきましたが、私は頑張っています。『こだま会報』を見るのが楽しみです。心が癒されます。投稿して下さる皆様、編集者の方々に感謝いたします。

浅井照明(伊勢原) 果樹園で収穫した梅・プルーン・ジューンベ

リー・栗等、ジャムにしたりして、賞味しています。年々、足腰の弱体化を実感しています。

橋川順一(平塚) 年を重ねていつしか80歳を超え、今では体験したことがないことが次々と起こり始めています。物忘れが多く、知人の名前が出てこなくて、すべてアレ・コレ・ナニで、目がかすみ、アナウンサーが早口で話すと聞き取れず、メガネを探すのに半日がかり。腰痛のため、寝転んで本を読むのですが、次の日には読んだことをコロリと忘れて、階段の上り降りが辛い...といった困った毎日を過ごしています。

竹下純則(南足柄) 体力の衰えで、どこへ行くにもタクシーと車椅子となり、一人では何もできなくなりました。老いることの大変さを感じる今日この頃です。

小笠原 勇(寒川) おかげさまで、何とか毎日過ごしています。カムサハムニダ!

金崎建治(相模原) 長寿祝制度の発足当初に祝品を頂きありがとうございます。私はウォーキング等で体力維持に努めています。
鈴木志げ子(鎌倉) かもめ会がなくなり、少し淋しいのですが、わがこだま会はずます発展して嬉しい限りです。県職労連の協力があつたおかげです。消費税は上がる、年金支給は下がるで、最近暗いことが多いですね。こんな折、我が家では下の孫(男の子)が結婚することになり、また11月にはひ孫が生まれま

す。この子たちのために、いつまでも平和な世の中であってほしいと思います。

星野玲子(伊勢原) 北朝鮮の三代目をも彷彿とさせる安倍政権の暴走は、とても恐ろしいです。足腰は弱り、遠出はできず、近場での自転車使用のくらしです。

大川照雄(藤沢) 今年の3月で87歳になりましたが、何とか元気でやっています。趣味としてコンピュータを活用して、あることに毎日、時を過ごしています。

井澤利越(小田原) いつもいろいろとありがとうございます。

大野秀夫(横浜) 先日は、長寿祝をいただき、ありがとうございます。

斎藤義男(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。

宮下 光(横浜) 病院通いが増えてきましたが、「憲法9条を守りたい」気持で、私にできることを!と動いています。
千葉眞弓(小田原) 先日は思いがけない長寿祝をいただき、ありがとうございます。会員でありなが



会親懇むむはが話

ら、行事に参加せず、失礼致しております。『会報』は毎回楽しく拝見し、勉強もさせていただいています。

田中和子(秦野) 今年の誕生日に、世界1位の日本女性の平均年齢寿命87歳になりました。これからが本当の余生だと思つて、毎日を大切に生きたいと感謝のこの頃です。規則正しい生活を心掛け、ペン画や水彩画などを描いて、神経を刺激して、脳が委縮しないよう頑張っています。う。

小林貴美枝(箱根) このたびは長寿祝をいただき、ありがとうございます。ごだま会では毎年、いろいろな行事が開催されており、高年齢になり足腰に自信がないと遠方にてかけにくくなり、地域での行事にはできるだけ参加していますが、ごだま会は疎遠になり、申し訳ございません。

梶山 毅(横須賀) このたびは、長寿祝をいただき、ありがとうございます。

明田剛一(横浜) 体調不良で療養中です。会員の皆様のご健康を祈ります。

宮澤恭子(茅ヶ崎) 非常勤の仕事も終え、少しごだま会の行事や趣味の会へ参加したいと考えていますが、地元で、9条守れ! 秘密法廃止! 原発再稼働許すな!等、さし迫った活動、成年後見人の役割等

で忙しくしています。今後も「手づくり文化祭」の作品展で参加できるように、絵画作りにとりくみます。

草間鐵子(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。

布川幸子(厚木) どうして人間の世界はいつまでも戦が続くのでしょうか。理解に苦しむ事件も多すぎます。週1回、登山で健康維持。本年は何かの行事に参加したいと思います。

塩沢徳夫(相模原) 自宅近くの横山公園で、毎日朝6時30分からNHKラジオ体操を続けています。

米山祥子(秦野) このたびは長寿祝をいただき、ありがとうございます。体は健康ですが、足が悪く歩くのに不自由です。

高橋永子(沖縄県石垣市) 定年退職し、石垣島に期間限定で来ています。石垣島へもいらして下さいね。

櫻井哲雄(平塚) 小さな菜園に持ち込んだ椅子を利用しながら、休み休み畑仕事をし、自然の力、植物の力をことさら感じながらの毎日です。

細江恒秋(藤沢) 最近、足腰が弱くなり会に出席できなくて申し訳ありません。

荒川克彦(座間) 小生も80歳となりました。長寿祝をありがとうございます。健康に留意し、趣味など生かしていきたいと存じます。

鎌田利治(相模原) 89歳になり、足腰も弱くなりました。憲法のもと、この国の福祉の貧困のなか、米兵一

人当たり年間1200万円も支出している矛盾。小生は毎年、確定申告期に税務署長、総理大臣に「税金の中から軍事費分を福祉に使うよう」請願(憲法16条)している。「九条の会」のご健闘を祈ります。

小出晴美(横浜) 地域で新婦人の会や年金者の会で、毎日忙しく楽しくすごしています。助けられたり助けたりで、この地で死ぬまで生きられるのがいいなと思うようになりました。横浜市は中学校給食がありません。小5の孫が中学に上がる頃までに、中学校給食ができれば、いいなと思っています。5月12日から14日、初めて福島へ。仮設住宅訪問をしてきました。生き地獄のようでした。

岸 靖之(大和) ジャスト70歳となり、週2日の仕事が月1となりました。いま戦争への道、「集団的自衛権はいらない」とりくみを地元大和で、多くの仲間とともにやっています。

鈴木公彦(横須賀) 元気です。年とともに難聴で、足が衰え、『こだま会報』を楽しみにしています。

平本喜久夫(相模原) 心のこもった長寿祝、ありがとうございます。 窪田 登(横浜) 早いもので、長寿祝をいただく齢になってしまいました。現在の生活は、朝夕2回の愛犬のお供と、道楽の写真機いじりとなつてしまいました。まあこれが、健康と頭使い源です。

岩澤幸雄(伊勢原) 長寿祝をい

ただき、感謝しています。総会には3度は出席しましたが、その後は体の不調で欠席してきました。5月、再度食道ガンになり、伊勢原共同病院から東海大学病院に移り、放射線などの治療を受けながら、何とか生き延びたいと強い意志で乗り切りたいと思つています。こだま会も私と同じく高齢になりましたが、会の発展と皆様の良き健康をお祈りします。仲間の絆を大切にしながら。

田中 讓(福岡県小郡市) 県庁付近でのトライアスロン、自転車競技をテレビで観ました。なつかしい街並みにしばし、昔の横浜を思い出しました。

川田勝利(横浜) 晴れた5月の。今年のメーデーは、幹事のはからいで現職とOBがそろって参加しました。気分は爽快でした。

後藤貞夫(横浜) 5月に心臓手術をしました。

雨宮和雄(海老名) 山仕事の会に入り8年、綺麗になった林の中で、弁当を食べ、仲間と喋り、気持ちの良い汗を流しています。また海老名市の緑ゆたかな街を残すため、えびなの森(森の学校)が開校され、そちらにも参加して第3土曜日に定例会が行われています。那須の山荘にも時々行き、海老名でも家庭菜園をやったり、定期的に通院したり、条件付きで毎日元気に暮らしています。消費税・介護保険もアップされ、年金は減らされ、厳しくなります。

小林節子(横浜) 皆様にお会い

できることを楽しみにしています。 小山武衛士(厚木) ヘルマン・ゲーリングのことば、「自分たちの国が攻撃されている。愛国心のない平和主義者が国を危険にさらそうとしている」を思い出し、ナチスの台頭の時代に似ているのではないかと不安になった。安倍丸はどこへ向かうのか、気になる。平穏な世の中であってほしい。今年も1年、みなさんとともに健康ですごせればと願っています。

小川達子(横浜) 相変わらず家事に興味に忙しくしております。病院には年に1回検診に行きますが、何年も異常なしで、薬も飲むことなく過ごしています。今年から眼科に行き、月1回ですが、半日はかかり、待ち時間も大変です。

吉澤靖夫(藤沢) 妻が要介護5に認定され、近くの施設に入所して早1年半。だいたい一人暮らしにも慣れてきた。70歳を過ぎてから、人生の機微を味わう。

柀澤 覚(相模原) 先の大雪の時、転倒し1カ月入院しました。快方状態に。このたびは長寿祝をいただき、ありがとうございます。

鳥居千珠子(東京都大田区) 2年前、突然やってきた次男一家の子どもたちも、この春から小学1年生と2年生になり、やっと少し自由の身になりました。それでも夜の会合や催し物などは、夫とのやりくりが大変です。3月に人間ドックを受け、4月からまたエアロビ(健康体操の

ようなもの)をやり始めました。世の中の動きは頭に来ることばかりです。健康に気をつけます。

叶井進一(横浜) 80歳を超すと、出かけることが少なく、自分でも元気がなくなつたと感じます。近いうちにバス旅行でも計画してください。できる限り参加します。船旅は近場なら希望したい。できるだけ多く計画してください。

亀井禎子(横浜) このたびは長寿祝をいただき、誠にありがとうございます。

上野文雄(横浜) 特技を生かした趣味の会ができることを望みます。公民館のサークルのようにできるといいですね。

菅野健児(厚木) 元気に毎日過ごしています。

島田多嘉子(横浜) 白内障の手術をしました。日帰り手術でしたが、健康が一番だと思つて思いました。これからも健康な毎日が送られるよう、筋トレして頑張りたいと思います。

斎藤孝治(横須賀) 週2、3回の家庭菜園作業と、野球の練習、カラオケなどで忙しい毎日過ごしています。

木村武子(横浜) 福島復興支援バスツアーは本当に良い企画でした。衝撃的でした。それ以上に「野馬土」の方々の直売店、カフェ、太陽光パネルなど活気に満ちた地域の活動に元気をもらいました。

小川政則(相模原) 忘れ事が増

えて、困っています。

榎本勝雄(藤沢) 相変わらず元気でスキー場通いです。神奈川県で頑張ってきましたが、昨年6月、全日本スキー連盟、日本スキー指導者協会の副会長を命ぜられ、日本のスノースポーツを盛り上げるよう努力しています。

生方武羅夫(横浜) 現政権(安倍首相)には、日本がアジア太平洋戦争を引き起こしたことに對する自省の念が全く欠落している。だから、集团的自衛権の行使を可能にするために、憲法9条の解釈を変えようとしているのだ。おこがましいが、私は憲法9条の成立過程についてはかなり研究している(つもりだ)。憲法9条をどう読んでも、他国(同盟国)軍を防衛するために、武力を使うことの正当性などは出てこない。このような現内閣の危険な策動に對して、老骨に鞭打って抵抗したいと思っている。『伝えたい想い』(こだま会発行)を作ったのもそのためだ。

石井紀男(横浜) 相変わらず障害者運動で毎日を過ごしています。障害者にとつても、消費税は困りものです。小生も消費税の被害を最小にすべく、庭に生えているフキやミツバをせっせと食べています。

辻村 博(茅ヶ崎) このところ、腰を痛めたりで気分がすぐれない。趣味のテニスをやりすぎたのかも知れない。今年の2月と3月に、雪を求めて北八ヶ岳の樹林帯を歩いてきた。これからは、雪のある時期、比

較的登りやすい山へ回帰しようと思う。

新倉仙太郎(三浦) こだま会の「歴史教室」に思う。私も何回か参加しましたが、講師の中村氏が体調を壊し、担当の佐藤さんも体調を壊したとのことで、歴史教室はなくなってしまうのかと、一時期は思いましたが、新しく生方氏が講師を引き受けていただけることになり良かった。担当の佐藤さんも体調が良くなり、歴史教室が続けられると思うと、本当によかった。仲間は力。元気が一番。ガンバロー。

平川千恵子(横浜) 孫の世話に追われている毎日です。皆様にお会いできることをたのしみにしております。

堀口和子(横浜) 近々保育園を退職予定です。

松本吉弘(横浜) 妻が半身麻痺で車椅子のため、10年間外に出る事ができませんでしたが、特養ホームに入れたため、行けるようになりました。地域で革新懇運動をやっています。

松本正治(藤沢) 昨年は入院。今年は元気になりました。皆さんの元気な顔に会いたいですね。

毛木 勇(横浜) 長寿祝、ありがたく受領致しました。健康のため50坪ほどの畑を借り、野菜作りをし



懇親会でなごやかなひととき

てご近所に配り、喜んでもらっています。また団地内の公園清掃やパトロール等も行っています。健康の続く限り、続けたいと思っています。山崎重夫(横須賀) 知らず知らずに78歳。おまけに8月がくると79歳。今までは齢など気にしていません。今までは「おめでとう」なんて言われると気になって来る。父親は7月7日生まれで、お祝いに生クリームのを買ってあげたら、「うまい、うまい」と

食べていたのに、8月になると元気がなくなり、ものを食べなくなり、8月25日に旅立っていった。90歳。俺もあと10年ちよつと。でもそれまで持つかない? 去年の12月に心臓弁膜症が見つかった。ひよつとしたら、お迎えが目の前に来ているのかも知れない。

湯川 勉(二宮) 今年、喜寿を迎えて心身の衰えを感じます。物忘れがひんぱん。走ることや歩くことが遅くなった。アルバイトもボランティアも減らして(本当はやめて)、自由な生活をしたと思っています。

佐藤喜治(横浜) 「歴史教室」は1990年発足。一代目・荒井太郎氏から二代目・中村猪一郎氏、三代目・生方武羅夫氏へ、通算24年間、計104講座を実施。①歩く楽しみ、

②知る楽しみ、③仲間づくりをモットーに、やる気、勇気、元気、根気、のん気の「五気」を、参加して完結してみませんか。一生勉強、一生元気だ。「歴史教室」世話人。井坂房子(横須賀) 忙しくあわただしい毎日を送れることは、この歳では幸せなことかなと思っています。来年のいつせい地方選挙に息子が県議会に、婿が市議会議員に挑戦することになりました。来年の4月末に二つの朗報が入ることを願って頑張ります。応援してください。阿左見彰子(横浜) いつもお知らせ、ありがとうございます。地域の年金者組合で忙しく毎日が過ぎていきます。

新井康和(横浜) 各部会の今後の活動がわかるものがありましたら、お教え下さい。笈川和男(横浜) 昔懐かしい顔を見に、総会に出席したいと思えます。

大竹 功(相模原) 『こだま会報』、よく読ませて頂いています。ありがとうございます。鹿郷真弘(小田原) 高齢者になって思うこと。日常の生活習慣を改め、健康を維持するためのとりくみが、最も大切であることを痛切に考えさせられるこの頃です。

中原保彦(島根県邑智郡美郷町) 島根に移って5年半、妻や子どもたちもそろって3年たちました。母は96歳と老いましたが、何とか週3日、デイサービスに出かけています。

550418.indd 13

私は隣近所の耕作できなくなつた田圃を預かり、年金を投入してトラクター、脱穀機などの中古品をそろえ、米・蕎麦・小麦・薬草などを作っています。4月には日本ミツバチ群を捕獲し、「養蜂家」になりました。昨年「九条の会」の立ち上げなど、細々と「政治ボランティア」にもとりくんでいます。

足立君代(横浜) 『会報』をいつも楽しみにしています。

荒木隆幸(愛川) 長寿祝、ありがとうございます。大変恐縮しております。こだま会の運動を陰ながら応援しています。今はウォーキング等を楽しんでいます。

斎藤佐奈江(横浜) 昨年末に眼底出血をおこし、現在片目での生活に不自由な日々を送っています。私に、長寿祝をいただき、大変うれしく心からお礼申し上げます。「気長に治そう」という主治医の言葉を信じて、楽しく生きて行こうと思えます。

柴田正幸(南足柄) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。『こだま会報』はいつも楽しく読んでいます。今は土いじりなどに精を出していますが、「もう少し浮世の風にふれた方がよいか」と考えています。

阿部 豊(相模原) ひよんなことから心臓の機能障害が見つかり、僧帽弁閉鎖不全症とのこと。春先に入院手術。1カ月弱の病院暮らし。おかげで花粉症に悩まされずに過ご

す。現在は大学や自治体の生涯学習講座を受けたり、家庭菜園の真似事や県職労県央支部の手伝いと、以前の生活スタイルに戻っています。

山本秀実(長野県飯山市) 皆さんこんにちは。5月の『会報』に私のこと(会員紹介)を掲載していただき、ありがとうございます。その後、無事、田植も完了し、稲の苗は秋の実りに向けてスクスクと育っています。10月には格安で魚沼産の美味なお米を産直しますので、希望の方はご連絡下さい(事務局を通して)。

天羽忠子(寒川) いつもニュース、『会報』等、ありがとうございます。元気に、趣味にいそがしく暮らしています。

増田晶子(秦野) 毎回楽しい『会報』を読んでいきます。これからもよろしくお願ひします。

渡辺雄之介(平塚) 元気です。

小山直次(相模原) 带状疱疹の後遺症で、左足がしびれていて、好きなテニスができなくなりました。が、農作業や地域のボランティア(道保川を愛する会)で、元気に頑張っています。

片木和雄(小田原) 『会報』等をお送りくださりながら、当方無音連続で何と申し上げてよいか言葉がありません。私、腰痛と血管の病で病院通い。今回は長寿祝までいただき、本当にありがとうございます。

岩柳良雄(横浜) 毎日サンデーになって1年余。囲碁の会と水彩画

を教わっています。船橋まさ子(横須賀) 歩行困難な状況です。

矢作 豊(秦野) 会員の皆様のご健康を祈念致します。山田 豊(三浦) 高齢のため、総会にはゆけません。

食文化を楽しむ会

夏を乗り切る薬膳料理に挑戦

梅雨明けした途端に猛暑の到来。7月24日(木)、横浜市西区地区センターで、食文化を楽しむ会の「夏を乗り切る薬膳料理」がありました。料理指導は会員の亀井禎子さん。参加者は6人。



ひと工夫で食欲増進

* * * 体調を崩しておられる次の方々、早く回復されますよう、お祈りしています。大島照治氏(茅ヶ崎) 大原茂氏(大和) 矢部市太郎氏(横浜) 大木一郎氏(二宮)。



おいしそう

* 献立は6品

- ① 緑豆、生姜、油揚げ入りご飯
- ② 鳥のから揚げ
- ③ 玉竹入り冬瓜スープ
- ④ 長いも、きゅうりのゆかり入り酢の物
- ⑤ 人参、茸、ひじきの煮物
- ⑥ 山査子茶、枸杞入りヨーグルトポーチ

さっぱり系でマンネリになる夏の食卓を、ひと工夫を加えて食欲増進。夏ばて予防を心がけることが大切です。さー、暑さを吹っ飛ばしていきましょー。(鳥居伸太郎)

予告!! 予告!! 予告!!

●第58回歴史教室(散策)

テーマ 江戸城址探訪
とき 9月25日(木)
集合 JR「東京駅」丸の内中央口 改札前午前10時(時間厳守)
会費 500円(交通費・昼食代各自)
講師 生方武羅夫会員
申込先 こだま会事務所045(212)3179 または佐藤喜治 045(361)011

●俳句サークル「こだま句会」

月例会句会(毎月第2木曜日13時~)
9月11日 10月9日
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
指導 太田土男先生(俳人協会)
会費 800円
申込先 こだま会事務所045(212)3179 または井村友彦0463(81)4493

●囲碁同好会

月例会 毎月第1日曜日12時から
場所 「囲碁サロン」JR藤沢市南口そば
申込先 こだま会事務所045(212)3179

●楽しい料理教室

とき 9月20日(土)11時~
ところ 「男女共同参画センター横浜南フォーラム南太田」(京急「南太田駅」徒歩4分)
テーマ 簡単な魚料理ほか
会費 2000円
申込先 こだま会事務所045(212)3179

●食文化を楽しむ会(薬膳料理)

とき 11月中旬
ところ 未定
講師 亀井禎子会員
申込先 山本文子 03(3728)2227 亀井禎子 045(332)4601

●てく・テクの会「秋の日向薬師散策と小金井酒造を訪ねる」

とき 11月27日(木)
集合 小田急「伊勢原」北口10時(時間厳守)
ところ 日向薬師と小金井酒造
詳細 同封のチラシ参照
申込先 こだま会事務所045(212)3179

第57回歴史教室(講義)

「鎌倉府」の成立と崩壊② 太田道灌とその時代

県庁本庁舎6階会議室で6月27日、14時から16時。講師は生方武羅夫氏。出席者は8人。

◆はじめに

太田道灌といえは、やまぶきの花と江戸城築城で知られているが、活躍した時代背景などは案外知られていない。徳川幕府成立以前は、関東地区の鎌倉や江戸は、幕府や御所の京都に対し地方(田舎)であったのも、その理由であろう。

◆太田道灌の誕生

道灌は永享4年(1432)、父・太田資清(道真)の長子として鎌倉扇谷の太田邸(現在の英勝寺あたり)で生まれた。幼名・鶴千代丸。元服名は資長。道灌は出家(47歳頃)後



室町時代後期の武将・太田道灌

の名。

◆道灌の生きた時代背景

①鎌倉府の崩壊から戦国時代へ

道灌の幼少時、永享の乱(公方持

氏の自害)、嘉吉の乱(将軍義教暗殺)。公方(6代)成氏の時代には、公方と管領上杉氏との争いが絶えず、「享徳の乱」(成氏の憲忠暗殺)を機に、鎌倉府は崩壊した。関東各地の武士の戦国時代となる。

②道灌の江戸城築城と道灌暗殺

道灌は扇谷上杉氏の家宰(執事・家老)として、公方成氏と対峙し、下総千葉氏への備えとして江戸城を築城した。道灌暗殺は、主君・上杉定正の命による。文武両道の士の滅亡。

◆道灌の教養と文芸

道灌は26歳で江戸城主となり、兵法と歌人としての修業を積んでいる。道灌の一首。

山桜咲てとくちる世の中のならいも花にあらずもあらなん

◆まとめ 太田道灌暗殺後

鎌倉府は崩壊し、北条早雲(小田原北条)が関東に進出してくる。戦国時代到来である。

◆終わりの拙句を

道灌や歌に託して梅雨晴間

(湯川 勉)

手づくり文化祭のご案内

— 神奈川県自治労連退職者会主催 —

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を

とき: 11月1日(土)
ところ: 横浜市従会館(桜木町下車)
申込締切: 10月21日(火)までに「こだま会」事務所へ(搬入も)
申込先: こだま会事務所 045(212)3179



こだま俳壇(7月)

鉄骨にインド労務者雲の峯
軒無くも風鈴一つ買ひにけり
新居建つ庭に干されしアロハシャツ
幾度も母に詫びたし雲の峰
雨乞や小さき祠に言ひ伝へ
ひまわりや大笑いする母の顔
かなぶんが行きつ戻りつ窓の外
薄紅の蚩袋や鐘の音
もぎたてのチクツと刺さる青胡瓜
夏の雲母と子どもを追ひかけて
夏の雲遊び惚ける子らがいて
夏落葉舞う公園に汽笛かな
日焼顔白き歯映えて夏休み
遠目にも紫陽花華やぐ小庭かな
父の為やわらかき鯨捌くなり
兄弟の小さな旅や夏休み

小川 水草
松尾佐知子
中村 桂子
田中 一男
坂 守
木村 武子
友井 眞言
三井 光子
島田多嘉子
鳥海 敏雄
柳瀬 節子
井村 友彦
松本 正治
横川美代子
高橋 和江
太田 土男

復興バス
応援ツアー
レポート

人なき街 静止画像の如く在り
過酷事故より三年余にして

こだま会「てく・テクの会」は5月14日、15日、「福島復興応援バスツアー」を行い、福島県原発20キロ圏内の視察や須賀川市の「日本しゃくなげつつじ苑」見学などを行いました。以下は一杉雄二さんからのレポートです。

5月14日朝9時前、21人(他に2人現地参加)マイクロバスが県民センター前を出発。この空間放射線量は、地上1mで0.08μSv。東北道北上につれ、立寄ったSAでの線量は漸増していたが、須賀川市の「日本しゃくなげつつじ苑」では、0.35を記録、ピーピーという警報音が鳴り響いた。チェルノブイリ隣接のベラルーシ製線量計の警戒レベル、0.3を超えたのだ。



案内役の三浦博さん



元県職員野地寿子さんもかけて

飯坂温泉「みちのく荘」に宿泊。源泉掛け流し温泉は素晴らしかったが、街に観光客の姿はなく、逆に廃業した旅館の姿が目立った。15日、NPO「野馬土」代表理事の三浦博さんの案内で、「福島原発20キロ圏内視察」に向かう。相馬市のマルシェ「野馬土」の線量は0.15。三浦さんは、「浜通り農民連」の副会長。南相馬市小高区で6ha規模の米作・畜産を営んでいたが、原発から12キロ、海岸から1キロの位置故に、津波・放射能被害をまともに受け、今は相馬市内に3.5haの土地を確保し、農業再建の途上という。震災当日ご本人は、相馬市内で農民連の重税反対行動に参加していて難を逃れた。



人がけが全くない市街(浪江市)



至る所に漁船、車が残されていた



相馬市のマルシェ「野馬土」で買物

南相馬市小高区から20キロ圏内に入り、浪江町に向かう。沿道は低層建築が多い故か、地震による破損が目立たない。家々の庭先には芍薬、躑躅、藤、アイリス等が満開だが、人影の全く無い風景は異様だ。大正期の干拓地という沿岸の田園地帯は津波が一掃し、荒果てた田畑の至る所に漁船や自動車が残され、丘陵の彼方に原発の建屋、排気塔が微かに見える。赤錆びたレール、浪江駅前商店街で唯



日本しゃくなげつつじ園(須賀川市)で

一動いているのは、点滅する信号機のみ。

三浦さんは、補償金の有無や多寡に伴う被災者間の微妙な感情、勤労意欲を失いつつある人々等、深刻な話題にも触れていたが、明るく力強いその語り口には、復興に立向かう人達の意気の高さが、十分に滲み出ていた。

◆ツアーの印象を我流の短歌3首に

*津波去りて田野に横倒う漁船・自動車 そを操りし人よ何処に
*放射能汚染せしゆえ人去りし 町に咲き競う花ぞかなしき

*人なき街 静止画像の如く在り 過酷事故より三年余にして

(一杉雄二)

会報No.105
2014. 8. 15

編集・発行
神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 加瀬 文隆

〒231-8588
横浜市中区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/